

# 令和8年度 行方市立麻生東小学校 学校経営グランドデザイン

＜校訓＞ 睦みあう 育てあう 鍛えあう



## 教育目標

自ら学び 心豊かに たくましく生きる児童の育成

## 組織目標

- 一人一人の児童が自分の力を発揮できる授業づくり
- 互いを認め合い、高め合い、自己肯定感・自己有用感を実感できる学級・学校づくり
- 一人一人の児童が安心して過ごせる学級・学校づくり

## 教育スローガン

なりたい自分に挑み 響き合う学校

～みがく つなぐ つくる～

【茨城県の教育目標】

ひとりひとりの能力を開発し 豊かな人間性をつちかう  
 しょうぶな身体をつくり たくましい心を養う  
 郷土を愛し 協力し合う心を育てる

【行方市教育プランの基本目標】

新たな価値を創造し  
 郷土と社会の未来を切り拓く  
 人間の育成

【行方市の重点施策「5つの矢」】

- 1の矢 学力向上
- 2の矢 豊かな心
- 3の矢 いじめ、長欠・不登校対策
- 4の矢 特別支援教育
- 5の矢 幼児教育

## 確かな学力の育成

＜目指す児童の姿＞

基礎・基本を身に付け、  
 自分の考えを伝えることができる児童



1) 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図ります

- ・個に応じたきめ細かな指導  
 習熟度別学習、通級指導、教科担任（社会科、理科）
- ・モジュール学習（国語の時間）による基礎・基本の徹底
- ・家庭学習や授業における復習や学び直しの計画的な実施
- ・デジタル学習基盤の効果的な活用（道具としてのタブレット）

2) 児童が「分かった」「できた」「もっと知りたい」を実感できる授業づくりを目指します

- ・新しい麻生東小授業スタイルの実践
- ・児童自らが考え、伝え合う活動の場の充実
- ・根拠や理由を明確にした言語活動の充実
- ・見通しと振り返りのある授業づくり



3) 特別支援教育の充実を図ります

- ・個別の指導計画、個別の教育支援計画による計画的な指導
- ・合理的配慮の実現（自己決定の場提供）
- ・交流学級との連携強化
- ・ユニバーサルデザインの推進

＜目標とする結果＞

【県学力診断のためのテスト】 **全年齢県平均正答率(+3%)以上**

【児童の自己評価】

- ・宿題や家庭学習を毎日やっている **A+B=85%以上**
- ・授業中自分の考えを伝えることができる **A+B=90%以上**
- ・授業の中でタブレットを使っている **A+B=85%以上**

## 豊かな心の育成

＜目指す児童の姿＞

安心できる生活の中で、  
 自他を大切にし、挑戦する児童

1) 所属感、自己有用感を高める教育活動の推進を図ります

- ・児童一人一人が活躍できる場の設定
- ・児童の多様な「よさ」を認める機会の創出
- ・児童が貢献を実感できる機会の創出
- ・児童がつくる学校行事の実施

2) 生徒指導の充実を図ります

- ・アセスメントの活用（QUテスト、生活アンケート）
- ・児童一人一人の声を聴く教育相談の実施（6月、11月）
- ・多面的な児童理解と情報共有
- ・組織的、協働的な支援体制の確立  
 校内オンライン相談窓口の活用



3) 特別活動、道徳教育の充実を図ります

- ・学級、学校をよくするための話し合い活動
- ・「考え、議論する道徳」授業の実践
- ・一人一人の人権を意識した指導（人権教育）
- ・体験活動、異年齢活動の充実



＜目標とする結果＞

【児童の自己評価】

- ・自分にはよいところがある **A+B=85%以上**
- ・今の自分が好き **A+B=80%以上**
- ・自分は人の役に立っている **A+B=80%以上**
- ・大きな声で挨拶や返事ができる **A+B=80%以上**

## 健やかな体の育成

＜目指す児童の姿＞

楽しく運動し、  
 健やかな体を育む児童



1) 体力づくりを推進します

- ・運動量の確保を前提とした体育授業の工夫
- ・年間を通して運動性のある体力づくり
- ・体育的行事の工夫
- ・外遊びの奨励
- ・体力テスト、健康診断結果の分析と考察

2) 食育、保健指導の充実を図ります

- ・地域人材や栄養教諭による食育の授業の実施
- ・親子活動における外部講師の講演会、食育の演習の実施
- ・養護教諭と連携した保健教育の充実
- ・歯科医と連携した歯科保健指導、フッ化物洗口



3) 健康、安全教育の充実を図ります

- ・外部講師による健康教育の実践
- ・児童の危険予知力、回避実践力の育成
- ・清潔検査（月1回）による基本的な生活習慣の確立
- ・「いのち」の教育の推進

＜目標とする結果＞

【体力テスト】 **A+B判定 65%以上**

【児童の自己評価】

- ・苦手なものでも、少しでも食べようとしている **A+B=82%以上**
- ・9～10時間程度の睡眠がとれている **A+B=85%以上**
- 【虫歯未処置者】 **7%**

働き方改革の推進

- 麻生中学校区 幼保小中連携の推進
- 合同研修会の実施
- 相互授業参観、体験活動を通しての相互理解
- 育てたい資質・能力の共有

- 業務削減、効率化、平準化、チーム対応
- 計画的な年休取得（50%以上）、リフレッシュデーの実施
- ☆ 勤務時間在校時間 月平均45時間以下、年間360時間以下 100%

服務規律の確保

- たいせつです運動の徹底
- 危機管理体制の強化
- コンプライアンス研修（ボトムアップ型）の確実な実施

地域とともにある開かれた学校づくり

- 学校運営協議会（CS）の推進
- 各種たより、HPによる積極的な情報発信
- 学校評価を生かした学校づくり
- 行方市教育支援ボランティアの活用

安心、安全な学校づくり

- 地域、保護者と連携した児童の安全確保
- 安全見守り隊、帯同ボランティア
- 避難訓練、防止教室等の計画的な実施
- 定期的な安全点検による学校環境整備

教職員の資質能力の向上

- 校内研究の充実  
 校内研究のテーマ  
 「論理的に思考し、表現する力を高める国語科学習指導の在り方」  
 ～知識及び技能の確実な習得を基盤とした対話的・協働的な学びの充実を通して～
- 教職員一人一人の強みを生かした校内研修の充実
- 若手、中堅、ベテランの持ち味を生かした学び合いの促進
- 研究授業、相互授業参観によるスキルアップ
- 教員評価や研修履歴の活用を生かした人材育成